
明窓十句

今瀬 剛一 選

朝の雨静かに乗せて栗の花	さみどりのテニスボールや風薫る	昆布干す大海原となりゆけり	するすると葉裏葉表てんと虫	浜名湖の暮れ月見草暮れにけり	夏木立雨意の広がる城の趾	能面のうちに泣くこゑ朧の夜	原子炉の村いささかの花疲れ	本丸の跡たんぼぼの穂絮吹く	目高殖ゆふたり暮らしのしづけさに
湯川	千綿	高橋	斧田	市川	安田	橋本	栗原	岡崎	三輪
笑子	史	和恵	綾子	十二代	青葉	公子	梅子	桂子	よし子